

(様式1)

科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業申請書
申請の概要

1. 申請取組

- ※ イタリックは印刷不要です。申請時には削除してください。
また、申請書の作成に当たって、本様式に示される表の行の高さは記述量に応じて適宜変更することができますが、極力、列の幅の変更はしないでください。

プログラム名	※申請するプログラム名(次世代研究者育成プログラム又は研究支援人材育成プログラム)を記載してください。
コンソーシアムの名称(20字程度)	※コンソーシアムの名称を記載してください。仮称でも構いません。コンソーシアムとしての目標を示す提案のタイトルを記載してください。
代表機関名 総括責任者名	※代表機関の長(学長、理事長、機構長等)が、総括責任者として申請を行ってください。
共同実施機関名	※共同申請する機関名を記述してください。
連携機関	〇〇大学、〇〇株式会社
実施予定期間	平成26年度～平成33年度 ※事業計画は8年間とし、うち原則として5年間(平成26年度～平成30年度)について補助します。ただし、特に優れた成果をあげているものについては、改めて審査・評価の上、一定期間(例えば3年間)の延長があります。 ※初年度は、取組の選定以降の実施となります。
実施予定所要額	平成26年度：経費総額〇百万円 (うち自己負担額 〇百万円) 平成27年度：経費総額〇百万円 (うち自己負担額 〇百万円) 平成28年度：経費総額〇百万円 (うち自己負担額 〇百万円) 平成29年度：経費総額〇百万円 (うち自己負担額 〇百万円) 平成30年度：経費総額〇百万円 (うち自己負担額 〇百万円) 平成31年度：経費総額〇百万円 (うち自己負担額 〇百万円) 平成32年度：経費総額〇百万円 (うち自己負担額 〇百万円) 平成33年度：経費総額〇百万円 (うち自己負担額 〇百万円) 総 額：経費総額〇百万円 (うち自己負担額 〇百万円) ※様式3から転記してください。
取組の概要 (400字以内)	※本事業により実施する取組の概要を400字以内で記載してください。 ※本欄の内容は選定時等に公表する可能性があります。

(代表機関名：)

2. 代表機関（総括責任者）

総括責任者	ふりがな 氏 名			
	研究者番号			
	所属機関名			
	役職名			
当該取組における機関全体の実施責任者	ふりがな 氏 名			
	研究者番号			
	役職名			
当該取組における機関全体の事務連絡担当者 <small>（当該担当者に審査結果等すべての連絡を行います）</small>	ふりがな 担当者名		役職名	
	所属組織・部署名			
	事務連絡先	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県 〇市〇〇町〇〇-〇〇〇-〇		
		TEL.	FAX.	
		E-mail:		
機関における経理管理責任者	ふりがな 担当者名		役職名	
	所属組織・部署名			
当該取組における機関全体の経理管理担当者	ふりがな 担当者名		役職名	
	所属組織・部署名			
	事務連絡先	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県 〇市〇〇町〇〇-〇〇〇-〇		
		TEL.	FAX.	
E-mail:				

(代表機関名 :)

共同実施機関-# (機関名 : _____)

当該取組における機関全体の実施責任者	ふりがな 氏 名			
	研究者番号			
	所属機関名			
	役 職 名			
当該取組における事務連絡担当者 <small>(当該担当者に審査結果等すべての連絡をいたします)</small>	ふりがな 担当者名		役職名	
	所属組織・部署名			
	事 務 連 絡 先	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県 〇市〇〇町〇〇-〇〇〇-〇		
		TEL.	FAX.	
		E-mail:		
当該取組における経理管理担当者	ふりがな 担当者名		役職名	
	所属組織・部署名			
	事 務 連 絡 先	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県 〇市〇〇町〇〇-〇〇〇-〇		
		TEL.	FAX.	
		E-mail:		

※ 共同実施機関数に応じ、本ページを追加し、「共同実施機関-#」の#部分に1、2、3、…と記載し、各機関について本表を作成してください。

(代表機関名 : _____)

3. 運営協議会の設置場所

設置場所	※運営協議会を設置する機関名を記述してください。
所在地	
運営協議会の責任者名	
設置理由	※上記場所に設置する理由について簡潔に記載してください。

(代表機関名 :

)

(様式2)

科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業申請書
取組内容・詳細

○代表機関名 「 」
○プログラム名 「 」
○コンソーシアム名 「 」
(実施予定期間：平成26年度～平成33年度)

(1) 本事業の目的とコンソーシアムの構想

※本事業の目的とコンソーシアムの構想の内容を以下の項目に沿って記載してください。

※必ず項目毎に記載し、項目の追加、削除は行わないでください。

※図表等を用いてわかりやすく記載してください。

※枚数制限は設けませんが、簡潔かつ明瞭に記載してください。

①コンソーシアムとしての人材育成策の方針と理念

※本取組で育成を目指す人材像について、現状と、解決すべき課題を含め記載してください。

②コンソーシアムの構想

※本取組で構築を目指すコンソーシアムについて、構成・規模、連携のあり方、特色、優位性を含め具体的に記載してください。

※別途、コンソーシアムの概念図を添付してください。

(代表機関名：)

(2) 実施する人材育成プログラムの内容

※本取組で実施する人材育成プログラムの内容を以下の項目に沿って記載してください。

※必ず項目毎に記載し、項目の追加、削除は行わないでください。

※図表等を用いてわかりやすく記載してください。

※枚数制限は設けませんが、簡潔かつ明瞭に記載してください。

【次世代研究者育成プログラム】

※イノベーション創出人材を養成する多様なキャリアパスの確保を支援するシステムを構築する取組を提案する場合は、別途、内容を以下の項目に沿って記載してください。

①取組内容

※公募要領の提案の要件を踏まえ、取組の内容、特徴について具体的に記載してください。

②外部機関との連携

※本取組を行う際の外部機関との連携について、具体的に記載してください。

※外部機関とは、申請機関（代表機関及び共同実施機関）以外の大学、研究機関、民間企業、海外の大学、研究機関、民間企業等を指し、連携するそれぞれの外部機関については、どのような連携を行うのか具体的に記載してください。

③目標、改善方法

※本取組によって取組終了時及び補助事業期間終了時に達成しようとする状態を目標（定性的なものを含む。複数可）として設定してください。

※目標達成に向けて取組状況を確認・検証し、制度・システムの適切な改善に結びつけるための方法について具体的に記載してください。

④申請機関（代表機関及び共同実施機関）におけるこれまでの取組とコンソーシアム構築の効果

※申請機関（代表機関及び共同実施機関）がこれまで行ってきた人材育成の取組の強みや特色と、コンソーシアムを構築することにより得られる効果について具体的に記載してください。

⑤取組の発展性

※本取組の波及効果について具体的に記載してください。

(2) 実施する人材育成プログラムの内容

【研究支援人材育成プログラム】

①取組内容

※公募要領の提案の要件を踏まえ、取組の内容、特徴について具体的に記載してください。

②外部機関との連携

※本取組を行う際の外部機関との連携について、具体的に記載してください。

※外部機関とは、申請機関（代表機関及び共同実施機関）以外の大学、研究機関、民間企業、海外の大学、研究機関、民間企業等を指し、連携するそれぞれの外部機関については、どのような連携を行うのか具体的に記載してください。

③目標、改善方法

※本取組によって取組終了時及び補助事業期間終了時に達成しようとする状態を目標（定性的なものを含む。複数可）として設定してください。

※目標達成に向けた状況を確認し、改善措置に結びつけるための手法論について具体的に記載してください。

④申請機関（代表機関及び共同実施機関）におけるこれまでの取組とコンソーシアム構築の効果

※申請機関（代表機関及び共同実施機関）がこれまで行ってきた人材育成の取組の強みや特色と、コンソーシアムを構築することにより得られる効果について具体的に記載してください。

⑤取組の発展性

※本取組の波及効果について具体的に記載してください。

(3) 運営協議会の運営体制、機能

※コンソーシアムに置かれる運営協議会の運営体制、機能等について以下の項目に沿って記載してください。

※必ず項目毎に記載し、項目の追加、削除は行わないでください。

※図表等を用いてわかりやすく記載してください。

※枚数制限は設けませんが、簡潔かつ明瞭に記載してください。

①運営体制

※運営協議会の組織と責任体制について具体的に記載してください。

②機能

※運営協議会の機能と、その特徴について具体的に記載してください。

③補助事業期間終了後の継続の取組

※補助事業期間終了後の継続性を確保するための取組について、具体的に記載してください。

(4) 事業実施計画

【次世代研究者育成プログラム】

※支援期間中の年度ごとの事業実施計画について、取組内容、研究者の募集人数、募集時期、組織の整備時期を含め具体的に記載してください。

※イノベーション創出人材を養成する多様なキャリアアパスの確保を支援するシステムを構築する取組を提案する場合は、別途、支援期間中の年度ごとの事業実施計画について、取組内容、支援人数、募集時期、組織の整備時期を含め具体的に記載してください。

平成26年度：

平成27年度：

平成28年度：

平成29年度：

平成30年度：

平成31年度：

平成32年度：

平成33年度：

(4) 事業実施計画について

【研究支援人材育成プログラム】

※支援期間中の年度ごとの事業実施計画について、取組内容、対象者の人数、組織の整備時期を含め具体的に記載してください。

平成26年度：

平成27年度：

平成28年度：

平成29年度：

平成30年度：

平成31年度：

平成32年度：

平成33年度：

(代表機関名：

)

(5) 補助事業期間終了後の継続性

※補助金による支援が終わった後も、本取組を継続するための施策について記載してください。

※金銭的、人的な継続性、制度面の継続性等の観点から記載してください。

※1枚以内で記載してください。

(様式3)

科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業申請書
所要経費の見込額

○代表機関名 「 」
○プログラム名 「 」
○コンソーシアム名 「 」
(実施予定期間：平成26年度～平成33年度)

1. 所要額 (全体計画) (機関全体の合計額を記入) (円)

年 度	26年度 (1年度目)	27年度 (2年度目)	28年度 (3年度目)	29年度 (4年度目)	30年度 (5年度目)	合計金額
所要額						
補助金額						
自己負担額						
設備備品費						
補助金額						
自己負担額						
人件費						
補助金額						
自己負担額						
事業実施費						
補助金額						
自己負担額						

(円)

年 度	31年度 (6年度目)	32年度 (7年度目)	33年度 (8年度目)			合計金額
所要額						
自己負担額						
設備備品費						
自己負担額						
人件費						
自己負担額						
事業実施費						
自己負担額						

(代表機関名：)

2. 平成26年度所要額の内訳 (実施機関それぞれについて作成してください。)

機関名： _____

所 要 額		所 要 額 の 内 訳	
		補 助 金 額	自 己 負 担 額
A (円)		B (円)	A - B (円)
経費の内容	金額 (円)	積 算 内 訳 (円)	
設備備品費		※ 記入例 【次世代研究者育成プログラム実施分】 ・〇〇システム一式 〇円	
人件費		※ 記入例 【運営協議会経費分】 ・プログラムマネージャー等 〇人×〇円×〇月=〇円 【次世代研究者育成プログラム実施分】 ・若手研究者 〇人×〇円×〇月=〇円 ・研究支援人材 〇人×〇円×〇月=〇円 【研究支援人材育成プログラム実施分】 ・研究支援人材 〇人×〇円×〇月=〇円	
事業実施費 (消耗品費) (国内旅費) (外国旅費) (外国人等 招へい旅費) (諸謝金) (会議費) (通信運搬費) (印刷製本費) (借損料) (雑役務費) (光熱水費)		※ 記入例 【運営協議会経費分】 ※運営協議会機能維持に係る最低限の経費としま す。 〈消耗品〉 消耗品一式 〇円 〈諸謝金〉 選考委員会謝金 〇人×〇円 (〇〇国) =〇円 〈会議費〉 選考委員会 飲食物等 〇人×〇円=〇円 ※会議で供給する飲食物等は、各機関の規程等に従い必要最低限のもの とします。ただし、アルコール類については、補助金からは支出できません。 〈通信運搬費〉 インターネット利用料 〇ヶ月×〇円 〈借損料〉 コンピュータ借料 〇円×〇台=〇円 〈雑役務費〉 公募広告費 〇円×〇件=〇円 〈光熱水費〉 電気料金 〇ヶ月×〇円=〇円	

(代表機関名： _____)

)

